

目 次

(本編)

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の性格	1
3 被害推計項目	1
4 奈良県における被害地震の履歴	2
5 想定地震	6
(1) 内陸型地震	6
(2) 海溝型地震	7
II 地震被害想定手法	9
1 自然現象	9
(1) 地震動（揺れ）	9
1) 推計方法	9
2) 奈良県の地盤モデル	10
3) 地盤特性評価	12
(2) 液状化	13
2 物的被害	17
(1) 建物被害	17
1) 揺れ	17
2) 液状化	22
3) 斜面崩壊	22
(2) 火災被害	24
(3) 文化財被害	26
3 人的被害	27
(1) 死傷者数	27
1) 建物被害（地震動（揺れ）及び液状化）	27
2) 斜面崩壊に伴う建物全半壊による人的被害	29
3) 火災による人的被害	30
4 基盤機能障害	31
(1) 交通・土木構造物	31
1) 道路被害	31
2) 鉄道被害	31
3) 橋梁被害	31
4) ため池被害	32
(2) ライフライン被害	32
1) 水道被害	32
2) 下水道被害	33
3) 電力施設被害	34

4) 都市ガス被害	35
5) 電話・通信施設被害	35
5 生活機能障害	37
(1) 避難	37
(2) 医療	38
(3) 飲食・必要物資	38
1) 飲食	38
2) 必要物資	39
(4) 清掃・衛生	39
III 地震被害想定結果	40
1 自然現象	40
(1) 地震動（揺れ）	40
(2) 液状化	43
2 物的被害	57
(1) 建物被害	57
1) 地震動（揺れ）による建物被害	57
2) 液状化による建物被害	57
3) 斜面崩壊による建物被害	57
(2) 火災被害	61
1) 炎上出火件数	61
2) 残火災件数	61
3) 焼失棟数	61
(3) 文化財被害	63
3 人的被害	65
(1) 死傷者数	65
1) 地震動（揺れ）及び液状化	65
2) 斜面崩壊	65
3) 火災（冬の夕方6時発生で10m/sのケース）	66
4 基盤機能障害	68
(1) 交通・土木構造物	68
1) 道路被害	68
2) 鉄道被害	77
3) 橋梁被害	85
4) ため池被害	86
(2) ライフライン被害	89
1) 水道被害	89
2) 下水道被害	91
3) 電力被害	93
4) 都市ガス被害	94
5) 電話・通信施設被害	95

5 生活機能障害.....	96
(1) 避難	96
(2) 医療	97
(3) 飲食・必要物資	98
(4) 清掃・衛生.....	99
1) 瓦礫発生量の想定	99
2) 衛生	99
IV 被害想定結果を踏まえた災害シナリオ	100
1 シナリオの位置付け	100
(1) 被害シナリオ	100
(2) 対策シナリオ	100
2 被害シナリオ.....	102
3 対策シナリオ.....	113
V 地震防災対策検討の方向性.....	121
1 地震被害想定調査結果の活用.....	121
(1) ターゲットとする地震	121
(2) 主体別の地震被害想定調査結果の活用.....	121
2 奈良県における地震防災対策の考え方.....	125
(1) 地震防災対策アクションプログラム及び災害対応マニュアルの策定	126
(2) 実践的・効果的な防災対策の推進.....	126
(3) 地域防災力の向上	127
(4) 東南海・南海地震防災対策の推進.....	127
(5) 文化財の地震防災対策の推進.....	128
(6) 今後の地震被害想定調査の見直し.....	128

(資料編)

VI 資料

1	被害想定調査結果総括表	129
2	震度及び液状化危険度の分布（市町村別）	134
3	市町村別地震被害集計	147
4	震度別重要施設数	169
5	市町村別基本データ集計	190
6	市町村別固定資産台帳データ	193
7	震源の深さに関する考察	194
8	主要道路の交通量	197
9	全国主要 98 断層のうち政府の地震調査委員会から長期評価が公表された活断層	198
1 0	「東南海・南海地震防災対策推進地域」	201
1 1	中央防災会議・東南海・南海地震の被害想定結果の概要	203
1 2	気象庁震度階級関連解説表	205
1 3	第 2 次奈良県地震被害想定調査委員会委員名簿	206